

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(6/11)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
次世代エネルギー・モビリティ創造特区(豊田市)	正	3.5	3.7	3.5	3.3	<p>・全体としては、精力的な取組みを行っていると思われる。また、数値目標の見直しで、評価フレームはわかりやすくなったと思われる。</p> <p>・しかしながら、ここで掲げている評価指標が、特区計画の目標として挙げた低炭素な都市環境、市域経済の活性化、市民生活の質の向上に整合しているかという点では再検討が必要な部分がある。</p> <p>・数値目標(2)－②(次世代自動車の導入済台数(PHV等))ではHV補助制度廃止の影響で低い進捗度が目についてしまいますが、HV以外の目標値の内数も参考値として自己評価に盛り込むなど、HV以外の取組み具合を見えるようにしてはどうか。</p> <p>・モビリティ分野の進捗について具体的な取り組みを反映して、取り組みと進捗を適切に評価できる指標を検討されたい。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。